



## 常磐の強い絆と愛 「瀧山寺鬼祭り」開催

常磐学区が誇る国の重要無形民俗文化財となる「瀧山寺鬼祭り」が、15日(土)に開催されました。鎌倉時代から始まり800年という長い歴史をもつ天下泰平・五穀豊穡を願ったお祭りで、岡崎市内外からたくさんの方が観覧にいられていました。

私は、午後3時からの大松明行列から参観しましたが、瀧山寺仁王門には、常磐小学校の子供たちだけでなく、日頃か



ら学校評議員や社会教育委員としてお世話になっている方々や学区を支える活動に携わる地域の方々、保護者の方々など、常磐小学校に関係の深い顔が勢揃いして大変嬉しく思い



ました。また、孫面を務める常磐小学校の2年生の石原涼正さんと、祖父面、祖母面を務める涼正さんのおじいさん、お父さんの凛々しい姿があり、親子3代での冠面者に胸が躍りました。もちろん、若徒(わかとう)を務める2年生の井手口稜さん、中根寛輔さんの堂々たる姿も頼もしく感じました。



午後5時から登山行列、続いて仏前法要、長刀お礼振り、鬼塚供養(豆まき)、庭まつり(田遊祭)と、国指定重要文化財の本堂内や境内、舞台上で見ごたえのある演目が次々と披露されました。そして、午後7時45分からのクライマックスである「火祭り」では、燃え盛る炎の中に孫面、祖父面、祖母面の3面が現れ、邪鬼を祓って天下泰平・五穀豊穡を祈り大歓声に包まれました。今回は特に親子3代で行われたこともあり、これまで以上に感動で胸が熱くなりました。また、「瀧山寺鬼祭り」の開催にあたって常磐消防団の方が万全の体制を整えるだけでなく、警備や交通整備、駐車場での車の誘導、観光客への精進料理の振る舞い等、多くの保護者の方々や学区の方々が見守りで鬼祭りを支える姿があり、**常磐学区の強い絆と郷土愛**を感じることができました。心より感謝申し上げます。



最後に、大役を務めた涼正さんに感想を聞いたので紹介します。

Q:終わった直後の感想は? A:熱かったけど、火にあたっても泣かずに**笑顔**で終わりまでできました。

Q:火祭りはどうでしたか? A:ずっと熱かったけど、**滝町をよくするために**頑張りました。

Q:一週間の精進について? A:5時半に起きて6時からお参りして大変だったけど、おばあちゃんからお弁当をもらって**すごく美味しかった**です。

Q:何が一番大変でしたか? A:お餅をつくときに力が必要だったことと、火祭りで持ったお餅が重たくて大変だったです。

Q:お父さんおじいさんとやってみて? A:**家族全員で楽しく頑張れてとても嬉しかった**です。

私自身、火祭り直後にずっと見守っていた涼正さんのお母さんが流された涙に**家族愛**を感じました。